

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 26 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '子ども・子育て支援事業計画進行管理事業' and '子育て支援及び少子化対策'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Contains text about the establishment of support systems and evaluation processes.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes a data table for '子ども・子育て会議委員数' and '子ども・子育て会議出席者数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel (正規職員従事人数). Includes a diagonal cell for '期間限定総投入量'.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 30年度実績 and 01年度予算. Includes categories like 報酬, 需用費, 委託料.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01年度, 02年度, 03年度の事業内容. Includes a note about reporting content and a list of main activities with an arrow pointing to '市長マニフェスト'.

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画進行管理事業	事務事業No.	10101000977	所属課	児童福祉課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	国では、待機児童の解消や教育・保育の一体的な提供などによる新たな取り組みを進めるため、平成24年8月に子ども・子育て関連3法が制定され、子ども子育て支援の新たな制度が創設されました。当市においても平成25年11月に子ども子育て会議を設置し8回会議を開催しました。会議では新制度に係る基準や支援事業計画などが決定され、平成27年3月に子ども・子育て支援事業計画が策定されました。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	少子高齢化が進み児童数は減少しているが、0歳から2歳までの受け皿が不足しているため、施設の確保が必要である。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子育て中のすべての家庭を支援する事業であり、市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	子ども・子育て支援法第61条に基づく事業であり、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	子育て家庭の支援事業であるので向上余地がない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	子ども・子育て支援法第61条に基づく事業である。個別事業の進捗状況に加え、計画全体の成果について点検・評価することは重要であり、廃止・休止すると見直しができず、地域の現状やニーズを踏まえることができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業はありません。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	桜川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例に基づく報酬なので削減できない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	子ども・子育て支援法第61条に基づく事業なので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今年度は子ども・子育て会議を2回開催し、1回目には個別事業の進捗状況と計画全体の成果についての点検・評価に加え、公立教育・保育施設のあり方検討委員会の報告、ひなの里保育園と幼稚園の幼保連携認定こども園への移行についての意見を伺い、2回目には第2期事業計画のニーズ調査票への意見を伺った。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ①																								
コスト削減優先度評価結果 -																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>